



# なきごえ



1986

1

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

内山 晟



私が群馬県に疎開したのは、まだ3才と数ヶ月の時だった。食糧事情が極端に悪く、連日の飢餓感と、その頃飼っていたネコとの生活が、私の動物との最初の幼児体験ではないかと思う。ホンの少しの食べ物を、そのネコと分かち合った記憶がほのかにあるのだ。

10年の田園生活中に、イヌとネコとカナリアなどの小鳥が入れ代り立ち代り、入り込んで来ていた。

一昨年10月に亡くなった母が、私が動物写真家という職業につくや、よく言ったものである。「お前は小さな時から、動物が好きで好きでいたからネ」と。

野生動物を意識するようになったのは、小学校の3年生の時だった。それは「少年王者(山川惣治著)」に夢中になったからである。アフリカゾウの背に乗って、動物たちと心を交わし、自由に会話をした真吾少年が悪と戦う姿は、私のあこがれであり、夢であった。

「大きくなったら、絶対にアフリカへ行くのだ。それから、世界中の動物に出会って話をするのだ」と子供心に考えたものだった。外国に行くということが、日本人にとって夢のまた夢だった頃、外国へ行くという意味も判らず、私は夢見ていたのであった。

大学を卒業して、フリーの動物写真家としてスタートして数年した頃、初めての海外取材の機会が巡って来た。それは、真吾少年のアフリカではなかった。

## なきごえ1月号もくじ

動物と私 .....	2
“こんなに大きくなりました” .....	3
動物園グラフ・動物園日記 .....	4・5
虎の郷土玩具 .....	6・7
トラの話 .....	8・9
動物なんでも相談室 ⑫ .....	10
動物園ニュース .....	11

「進化論の島」として有名なガラパゴスであった。ガラパゴスの動物たちは、少しも人間である私を恐れることはなかった。むしろ、人間に興味を持ってか、近寄って来るものが多かった。好奇心の強いマネシツグミやフィンチたちは手の平まで乗ってきた。そんな時は真吾少年のような心境になれた。無人島にテントを張って寝た夜、テントの脇に枕を並べるように横たわったアシカの寝言と軀に悩まされることもあった。眠りを妨げられはしたものの、それが愉快でならず、増々動物の世界にのめり込んでいった。

ガラパゴスを振り出しに、動物たちと出会うための旅は続いている。

世界各地を歩いている内に、その地の動物園も必ず訪ずれるようになった。そして、十数年前、親しい動物園人とヨーロッパ動物園巡りをして以来、動物園を見る楽しみを知った。野生では決して見ることが不可能な動物を動物園で見られることが多いからである。

それとは逆に、動物園で見た動物と野生で出会った時の感激はひとしおである。感動して金縛りにあったように身動きできなくなったこともあった。

その感動を味わいたくて、他人から見ると苛酷過ぎると思われる地えも平気で赴くのである。

零下35℃の北極をエスキモーとテントで旅したこともあった。ジャコウウシを見たさにである。45℃のインドを氣息えんえんと、エアコンのない車で走りまわったこともあった。トラに出会いたかったからである。空気の稀薄なアンデスの高地を、喉をゼーゼーいわせながら望遠レンズを肩に歩き廻ったこともあった。ピクーニヤにひと目会いたかったからである。

人間と動物とのこんな出会いが、私の子供の頃からの夢であった。これからも、新たな出会いを求めて、世界各地を胸をときめかせながら、とび歩くことだろう。

(動物写真家)

## 表紙の写真説明

“ベンガルトラ” (*Panthera tigris tigris*)

インド、ネパール地方に分布するトラで、体重は200kgをこえます。表紙のトラは昭和48年の元日に生まれたオスの正ちゃん、今年13歳を迎えました。

(撮影：榎本 勲)

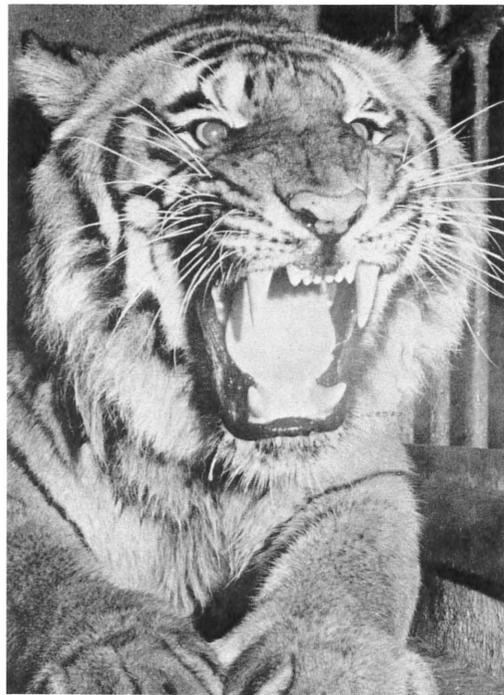


## “こんなに大きくなりました”

10月8日に生まれた3頭のシベリアオオカミの赤ちゃんは順調に育成し、12月15日には体重も6kgをこえました。この両親のオオカミは熊本動物園からブリーディングローンで借りているものです。

[昭和60年12月10日撮影]

(撮影：野口秀高)



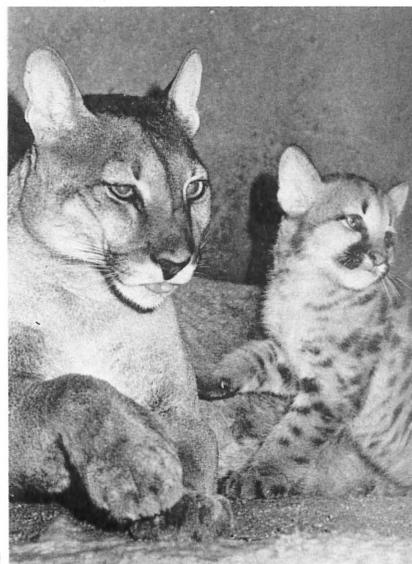
ベンガルトラ  
収容数：オス2、メス3頭

### “天王寺動物園のトラの仲間たち”

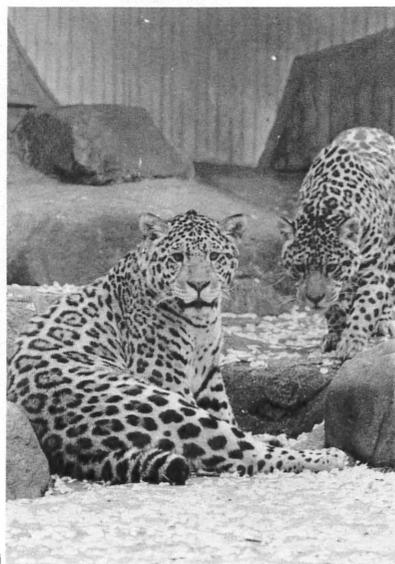
トラは食肉目ネコ科に属する動物で、特にライオンやヒョウとは非常に近い関係にあります。トラ年にちなんだ今回は、天王寺動物園に飼育されているネコ科の仲間を紹介しましょう。



シベリアオオヤマネコ  
収容数：オス1、メス1頭



ピューマ  
収容数：オス1、メス1頭

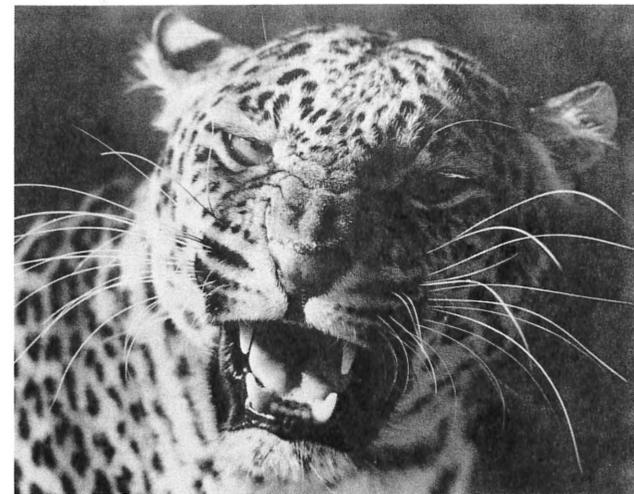


ジャガー  
収容数：オス1、メス1頭

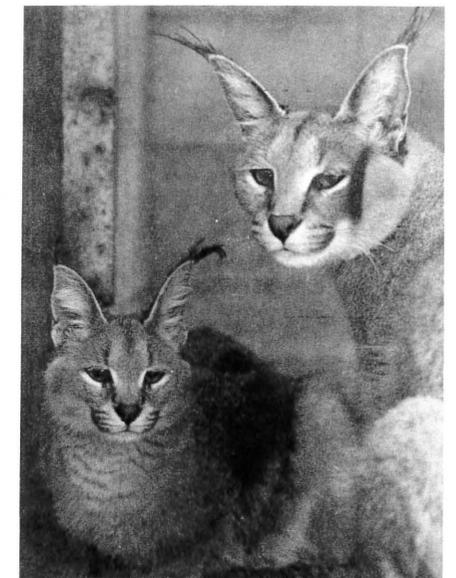
## 動物園グラフ

(写真：なきごえ編集部)

写真以外にはライオン8頭、ポプキャット2頭が飼育されています。



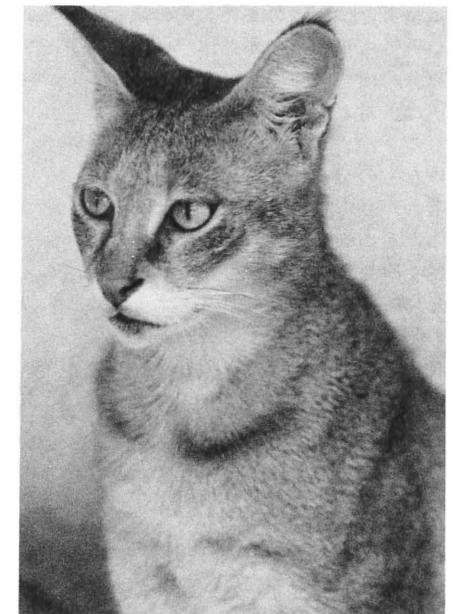
ヒョウ  
収容数：オス1、メス1頭



カラカル  
収容数：オス1、メス1頭



ベンガルヤマネコ  
収容数：オス1頭



ジャングルキャット  
収容数：メス2頭

### 11・12月の動物園日記

- 11/10. 開園70周年記念式典。ニュージーランドフェア開幕。(～12/1)
- 11/12. ハリモグラの体重測定を行ないました。
- 11/13. ゴリラ舎の暖房を始めました。
- 11/14. 右足を骨折したキンクロハジロを保護しましたので、すぐ治療を行ないました。
- 11/17. 10月8日生まれたシベリアオオカミの子3頭は順調に育っており、体重の測定を行ないました。
- 11/10. 10月26日生まれの子ウガラゴは自力で巣の外に出て遊べるようになりました。

- 11/18. シベリアオオカミの子3頭を母親とともに初めて運動場に出し様子を見ました。
- 11/19. ブタオザルの雄が咬傷をうけたので、治療を行ない入院させました。
- 11/21. 上海動物園、顧文儀園長および呉獣医が来園見学されました。シベリアオオカミ母子の本格的な展示公開を始めました。
- 11/22. 夜行性動物舎にいるキーウィ、ハリネズミ、ムササビの体重測定を行ないました。
- 11/23. ジャッカルが交尾しました。ローランドゴリラの雄“ゴロー”とチンパンジーの雄“リッキー”はカゼのため薬を

与えています。

- 11/24. ホッキョクグマの妊娠が予想されるため、獣舎を一部手直しし出産準備を整えてやることにしました。
- 11/25. 高槻市で事故にあった野生のニホンジカを真夜中に保護しましたが傷が意外に深く、残念にも助かりませんでした。
- 11/27. キーウィなど夜行性動物舎用の山土や枯葉を、箕面や五月山方面に採取に行きました。
- 11/28. ミヤマホオジロを1羽保護しました。ショウガラゴの子が自分でエサを食べ始めました。
- 11/29. チュウゴクオオカミ(黒変種)が交尾しま

した。

- 定例飼育研究会が開かれ、動物写真家・田中光常氏のお話を聞きました。
- 5月末に母親の袋の中にいるのがわかったフクロギツネも大きくなったので、隔離室から展示室へ母親とともに移しました。
- 11/30. シベリアオオカミの子にワクチンを接種しました。
- 12/3. ベンガルトラの雄が1頭入園しました。
- 12/4. フサオマキザルの雄が1頭入園しました。
- 12/7. 新着のトラにワクチンを接種しました。
- 12/8. 第8回動物のお話とスライドの会「夜行性動物舎」「動物あれこれ」を開催しました。

# 虎の郷土玩具

平田 嘉一

△今年は十二支三番目の寅歳。十二支は、日本人の暮しに根づく密着した民間信仰である。郷土玩具の世界では十二支ものが大きな分野を占めている。人気のある動物のなかで古くから人間に親しまれている馬、牛、犬、兎、猿、鶏、兎など長いあいだ人間と生活をともにしてきたので自然に玩具も多くなってきた。

△虎は日本にいない動物で、古くから中国、朝鮮との交流のなかで虎は一般庶民に親しまれている。虎が玩具として現われた文献は、江戸時代の貞享4年（1687年刊）井原西鶴の「男色大鑑」に「道頓堀の真齋橋（大阪）に人形屋新六と云へる人、手細工に獅子笛あるひは張貫の虎（略）これみな童子たらしの様に拵へ」と記してあることからその当時すでに虎のおもちゃが発生している。

△張貫とは張子のこと。虎の玩具のなかで、何んといっても張子の虎が秀作。猛獣をユーモア化した首振りの構想は張子玩具の代表的なもの。この張子の虎は、首と胴が糸でつないであって首がユラユラゆれる。地方によってそれぞれの特色がある。口をあけたものや、口をふさいだもの、キバをむき出したもの。さらにピンと張ったヒゲ。鳥の羽をヒゲに使ったものなど空気の動きにゆれて首を振る。そして四ツ脚をふんばり、ぐっとあたりをにらんだ、いげんにみちたものがあれば、ネコのようにかわいいものもある。さらに形と色彩に変化があって主として黄色に赤、黒、藍等が加彩されているが、描き方によってその土地の環境がにじみでていることに気がつく。

△虎の玩具を大別すると、節句飾りものと持ち遊ぶものがあり、このなかには単なる玩具としてのものには信仰的、縁起的なもの、さらに伝説を基調としたものが含まれている。材料は紙、木、竹等で、その土地によって手近なところから容易に手に入る材料によって作られている。

△少彦名神社（大阪市東区道修町）の祭礼に疫病除



神農虎

けとして授与される張子の首振り虎。この神社は古代中国の薬祖を祀ってあって「神農さん」と呼ばれている。文政5年（1812）にコロリ（コレラ）が流行したさい、道修町の薬屋が虎の頭骨を配合した丸薬を売り、張子の虎を作って悪病退散のお守りとして授与したのが起源という。虎の腹に葉の朱印がおされ、家内安全無病息災と書かれた赤い短冊と共に五枚笹につるされる。参拝客がユラユラと持ち帰る姿は、暮に近い大阪の風物詩でもある。今年の年賀切手の図案にこの「神農の虎」が採用された。

△京都は、人形のふるさとである。全国各地に独特な表情をみせている郷土玩具の土人形の先祖をたどると、そのほとんどが伏見人形の影響を受けている。お稲荷さんの総本家、稲荷大社の門前に発生した伏見人形は日本の土人形の元祖である。それだけに虎の種類も多い。なかでも豊干禅師（虎乗りだるま）は豊年の徳に感じた虎が、修行の手伝いをしたという伝説に基づき作られたもので伏見人形中、最も異色な作品の一つである。



鞍馬寺あうん虎

対の虎がある。呼吸と吸気のいわゆる阿嘯の呼吸をあらわした坐り虎。これをさずかり神棚に祀り招福、厄除とされ、その年の幸福を祈るといふもの。ほかに鞍馬山の伝説の主人公牛若丸、天狗に毘沙門天ゆかりの虎を配し、竹串にさしたユーモアある珍しい首人形もあった。

△加藤清正が朝鮮で虎を退治した伝説から、虎と清正を組合わせた作品が各地でみられる。五月の節句に飾られ、わが子の強健と立身出世を祈る親の慈愛から生まれたものである。

△和唐内は郷土玩具の歌舞伎人形。歌舞伎狂言の近松門左衛門作「国姓爺合戦」は主人公の和唐内が明朝回復のために活躍する物語。和唐内は唐に渡って、虎が現われると伊勢大神宮のお札をかざしてこの猛獣をおとなしくさせるというエピソードを玩具化し

たもの。江戸時代の唄に「牡丹に唐獅子、竹に虎、虎を踏まえた和唐内、加藤清正虎退治」の武勇談は子供の世界にも忘れられない物語として伝えられ、清正同様に節句人形である。

△京都山科の毘沙門堂では大正15年頃から初寅の日に張子の虎の面守りを授与している。富田溪仙画伯の考案したもので、円形に近い黄地に黒の太い線を力強くえがいた個性豊かなもの。ほかに福笹に吊した張子の虎もあり、いづれも家内安全のお守りとして吊され、庶民から親しまれている。



小幡親子乗り虎

△滋賀県でただ一つ現存する小幡人形にも数多くの虎があり、伏見人形にみられない良い型が残されている。そのなかで和唐内を童児にした虎乗り童児。親と子と孫と三足が背に乗っている親子乗り虎は、一軒の家族に同じ干支が三人あった場合、その家が繁栄するということから作られた。

△旧奥州三春藩高柴村（現在福島県郡山市西田町高柴）のデコ屋敷と呼ぶ集落で作られる三春張子人形。腰高虎は獲物に飛びかかる姿をよくあらわしている。首が固定しており、大きな耳、さらに巻き上った尾、



三春腰高虎

前後にぐっつつまった腰高な姿勢はすばらしく各地の張子の虎玩具中、群を抜いている。

△茨城県那珂湊の張子の虎は、明治初年頃の創始。黄地に黒の縞模様、さらに赤と緑を加えた彩色に特徴があり、表情に雅気がある。

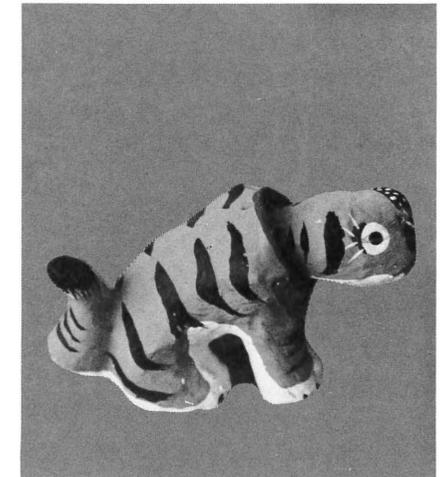
△北陸金沢では、首振り張子を「宇奈都起」とも呼

ぶ。京文化の影響をうけた繊細な感じの作品が多く、加賀百万石の城下町らしく、虎は丸味をおびた実にユーモアのある顔をしていて、ネコのようにかわいらしく魔除の虎と呼ばれている。

△静岡県浜松張子は明治初年、この地に移住してきた旧幕臣の創始による。ここの張子の特徴は動的な玩具が多い。虎の首は筒形になっていて四輪付の台車。赤をまじえた彩色は明るい感じをあたえ、子供が引いて遊べるようになっている。

△島根県出雲地方では、古くから魔除けや節句の飾りとされたり、勝負に強いとって縁起ものにされている。均整のとれた姿で、首と尾は取りはずしができ、すどい目つき、さらに大きくピンと立った耳とヒゲ、力強くふんばった四脚、黄色い胴体に黒の縞模様の特徴があり、昭和37年寅年の年賀切手のデザインに採用されてから一躍有名になった。

△四国高松張子の虎は、素朴な南国の明るさに富み、今日では香川県無形文化財の老婆によってその伝統が守られている。



沖縄坐虎

にふさわしいユーモラスな首振り虎である。

△日本の木地玩具はコマなど種類が多い。そのなかの虎は車がついていて、動かすと虎の舌が出たり入ったりする。もともと子供の遊ぶおもちゃとして作られたが、今ではおとなの鑑賞用になった。

△中国の代表的な虎の玩具には、布老虎（ブーラオフ）がある。これは黄色の布で作った縫いぐるみ。小形は墨で模様をえがき、中形は頭に王（ワン）の字がはってある。なお大形もあるが、これは大臥虎ともいって枕にもちい、この枕をすると健康になり立身出世をするという縁起がある。

（郷土玩具蒐集家：「おもちゃ通信」編集発行人）

# トラの話

## 動物としてのトラ

動物学的にいうと、トラは食肉目ネコ科に属する哺乳類である。ここまではどんな学者も一致しているが、ネコ科のなかの分類になると、かなり意見が分れている。細かいことはさておいて、トラはヒョウ、ライオン、ユキヒョウなどの大型ネコのグループに属し、とくにウンピョウに近い位置にあることは確かである。もともとはアジア東部から中近東南部まで広く分布していたのだが、次第に生息範囲が狭められ、現在では限られた地域になっている。日本でもウルム氷期前期の地層から化石が出ているが、おそらく氷河期の間に絶滅したらしい。



それぞれの地域個体群は分断され、次のように亜種に分化している。

(1) カスピトラ：以前はトルコ東部、コーカサスから中央アジア、ソビエト、アフガニスタンまでいたが、現在はほとんど絶滅、イランやアフガニスタンの北部に100頭ぐらいしかいない。毛色は赤味が強く、下あごと頬の毛が長い。

(2) ベンガルトラ：以前はパキスタンからビルマ西部までいたが、パキスタンでは1906年に絶滅、インド東部も姿を消した。野生では約2,500頭といわれるが、各地の動物園で飼育されている。黒縞が細く、数も少ない。

(3) マレートラ：東ビルマ、マライ半島、ベトナムなど。ベンガルトラよりも毛色が暗く、黒縞がはっきりしている。ほとんど絶滅。

(4) 中国トラ：形はやや小型で、毛色はやや赤い。中国南部に広く分布していたが、現在では雲南省南部、福建省蔵雲山脈、長江中流地域のいくつかの山地にいる程度。中国ではトラはパンダと同じ第一級保護動物となっている。

(5) シベリアトラ：バイカル湖から朝鮮半島まで分布していたが、各地とも絶滅状態。もっとも大型で、毛色は黄色が強い。尾の地色はむしろ白に近い。保護の結果、生息数はやや増加してきたという。

(6) スマトラトラ：スマトラ島にのみ分布。ベンガルトラよりやや小さく、黒縞が密である。数百頭以下。

(7) ジャワトラ：スマトラトラよりもさらに縞が密で、体も小さい。生き残っていても4~5頭といわれる。ジャワ島にのみ分布。

(8) バリトラ：最も小型。ジャワトラに似ている。1937年以来姿を見せていない。バリ島にのみ分布。

以上のように亜種によって体格がかなり違い、最大のシベリアトラでは頭胴長が2mをこえ、体重も300kgをこえるものもあるが、スマトラトラやバリトラでは頭胴長1.6m、体重160kg、雌では80kgしかない。

トラの生態も最近調べられてきている。一日の行動範囲は10~20kmぐらいだが、ときには60km以上も移動することがある。ふつう単独で生活し、はっきりしたなわばりをもたないが、雄同士、雌同士の行動圏は重なり合わないからお互いに避け合っていることは確かである。まれに数個体が共同で狩りをすることもあるという。



トラは水浴びが大好き

## 寅と虎、トラという名前

今年寅年、この「寅」という字には、ほかの十二支でも同じだが、動物のトラという意味はない。ツツシムとか油断シナイという意味の字で、これに

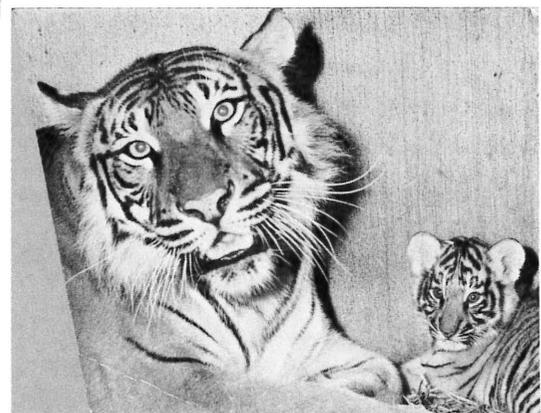
朝日 稔

中国でもっとも恐れられていたトラを当てたのだとされている。一方、漢字の「虎」の字は、上を向いて吠えている獣の象形文字で、読み方は「フー」、日本流に言えば「ウォー」である。ほかに中国では俗語として「大虫」ともいう。千年以上も前の本にはトラのことを「於兔」、「烏釋」などと書いてある。オトと読んだのであろう。このオがなくなり、後にラがついたのが日本語のトラだという説がある。一方、中国東北地方の部族名でトラのことをタルフというから、それがなまってトラになったともいう。

ところで、日本には、すくなくとも私たちの先祖が渡来して以来、トラはいない。トラについての話はすべて千年ほど前以降、中国や韓国から伝えられたもので、高島春雄先生の「動物渡来物語」や上野益三先生の「日本博物学史」によると、毛皮が伝来したのは545年(欽明・6年)、生きたトラが来たのは890年(宇多・寛平2年)とされている。だからトラという日本語が生まれたのは545年以降であろう。東光治先生によると、万葉集にはトラについての歌が三首あるという。調べてみると、いずれも「虎」という漢字をあてていて、「トラ」と読ませている。

もとからある日本語で「トラ」というよみ方は、「トラエル」から来ていて、人間を捕えて食うからだという説がある。万葉集の三首には、トラは韓の国にいる大声で吠える恐しい獣だとして扱われていて、人を襲うことにはふれていないが、話としては伝わっていたのかも知れない。

ここで重要なことは、トラの皮が伝来したのも、また万葉集に生息地として歌われているのも、韓の国である点である。トラという日本語の起源はまず韓国で探す必要がある。韓国ではトラのことをツル



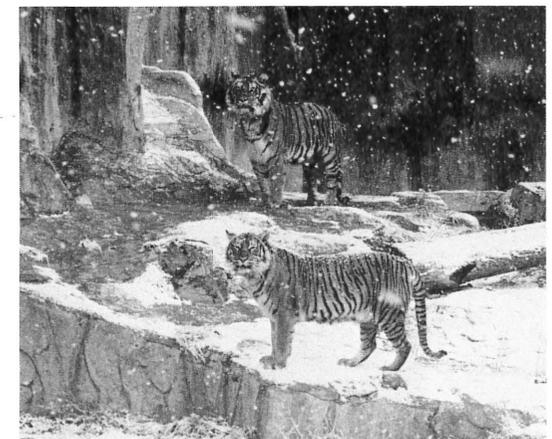
ベンガルトラの親子

ポウムといった(白鳥庫吉氏)、トルは古い韓国語

で靈魂をさした(岡田希雄氏)などの説は、考えてみる価値がある。が、現在の韓国語ではトラは「ホ」、「タイチュング」など、中国語のなまりを使っている。また、トラとヒョウを合わせて「ポム」を使う。トラとヒョウとの混同は、日本でも江戸時代まで続いており、雄がトラで雌がヒョウと考えられていたから、韓国文化の影響はかなり強いものがあったと思われる。

そこで思いつのが、現在の韓国語の「タル」である。この言葉は現在ではトラやヒョウよりも小さい、テンヤカワウソに使われていて、テンは「山タル」、カワウソは「水タル」である。が、私の想像では、昔はもっと広く使われていたのではなかろうか。つまり、日本でのシシのように、野生獣一般か、肉食獣一般に「タル」が使われていたのではないだろうか。

その韓国にはトラは全くいなくなっている。韓国ではゴールル、ツキノワグマ、ジャコウジカ、カワ



雪の中のトラ

ウソ、ヌクテ、そしてキツネが国家保護動物になっているが、トラはすでに絶滅種とされている。

× × ×

この稿は本来吉田平七郎先生が執筆される予定だったと伺った。が、昨夏、先生の御逝去によって私にお鉢が回ってきたものらしい。博学の先生には及ばないが、出張中のために御葬儀にも参列できなかったお詫びに、あえて御霊前にささげることにした。

(兵庫医科大学教授)

## 動物なんでも相談室 ⑫

### ☆ タイガーの名の由来について教えてください。

タイガーはトラの英名ですが、学名は *Tigris* といい、有名なチグリス・ユーフラテスのチグリスです。ちなみにチグリスとは矢のように早いという意味で、流れが早いのでしょうか。タイガーもチグリスも同じ語源だと考えられ、又、日本語のトラとも共通と思われます。タイの言葉でトラをタ・タイラフとよんだり、その他東南アジアの言葉にトウトカタグなどというのがあります。昔トラはアジアの広い地域に数多く生息していたが、森林に住み、単独生活しているトラは人々にとって神秘的な姿であったと思われます。

(回答：大野 尊信)



### ☆ 大阪でトラが飼育されたのはいつからですか。

動物檻で飼育されていたものです。このトラの詳細な経歴は分かりませんが、明治36年3月に大阪で開催された第5回内国勸業博覧会の余興動物園でトラが1頭飼育されており、この博覧会終了後、府立大阪博物館にこのトラは売却されたことが記録として残っています。大阪でトラが初めて公開されたのはこの明治36年の余興動物園においてだろうと考えられます。

一方、トラが大阪の地で飼育されたのは、豊臣秀吉が朝鮮半島へ兵を進めた折、何頭かのトラが生け捕りにされて日本に送られています。その中の1頭を秀吉が大阪で飼育していますが、餌として毎日生きたイヌを1頭ずつ与えたといわれますから、トラのためとはいえ、イヌもとんだ災難でした。従って16世紀末に飼われたトラが、大阪の地における飼育の最初と考えられます。

大正4年1月1日に天王寺動物園が開園した時にはトラはすでに飼育されていました。この時のトラは、天王寺動物園の前身である府立大阪博物館附属

(回答：宮下 実)



## 動物園ニュース

### § シベリアオオカミ順調に成育



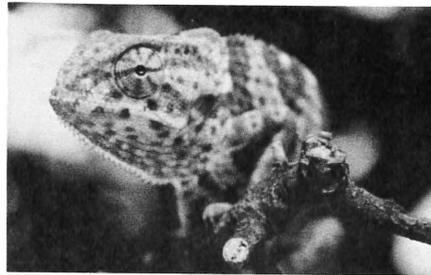
10月8日に生まれたシベリアオオカミ(メス3頭)の赤ちゃんは

順調に成育しています。生後約1ヶ月目の体重測定では、それぞれ3200~3300gの体重が、約2ヶ月目の12月15日には、6150~6350gに成長していました。一般公開に先立つ11月18日に初めてオス親と同居させましたが心配するほどのこともなく、子供たちはオス親にじゃれつき、初めて父親に接したとは思えないほどでした。11月20日から一般公開しましたが、親子5頭の仲むつまじい姿は人気を集めています。

### § ディレビスカメレオンの緊急保護

11月9日、大阪空港税関からの依頼でディレビス

カメレオン3頭の緊急保護がありました。タンザニア帰りの旅行者が



持ち帰ったのですが、カメレオンの仲間はすべてワシントン条約の附属書Ⅱにあげられており、原産国の輸出証明書がなかったため、税関に任意放棄されたものです。

は虫類舎に収容しましたが、コオロギ、ミルワームなどをよく食べ、3頭ともたいへん元気なようです。

### § フサオマキザル、カリフォルニアアシカ来園

動物交換で、フサオマキザルのメスとカリフォルニアアシカのメスが相次いで来園しました。

フサオマキザルのメスは、12月4日に福岡県の海の中道海浜公園動物の森から来園しました。当園ではフサオマキザル4頭を飼育していますが、メスが1頭しかいないため以前からメスを探していました。そこへ海の中道海浜公園から申し出があり、コブハクチョウ1羽と交換することで話がまとまりました。現在、動物病院で検疫中ですが、まもなく群といっしょにすることができそうです。

### 現在の飼育動物数

(1985年11月30日現在)			
哺乳類	13目	114種	429点
鳥類	19目	176種	602点
爬虫類	3目	32種	61点
計	35目	322種	1,092点



またカリフォルニアアシカのオス、メス交換が広島県の宮島水族

館との間で行なわれました。宮島水族館ではメス3頭を飼育しているだけなので、オスと交換してほしいとの申し出があり実現しました。12月13日に来園したメスは1971年に購入されたもので推定14才とのことです。当園からは翌日、1981年6月22日生まれ



のオスが来園しました。今後も動物園間の協力で積極的に動物

交換を行ない、互いの動物園で動物の繁殖できる環境を作っていきたいものです。

### § 70年史の刊行

11月10日に、「大阪市天王寺動物園70年史」が刊行されました。総ページ数240ページ、カラー写真



62枚、白黒写真150枚の体裁で、前身の府立大阪博物館附属動物檻

から現在までの歴史をまとめた本文と豊富な資料編からなっています。現在天王寺動物園協会で1部3,000円で販売しています。

### § エトのおもちゃ展開催

毎年恒例のエトのおもちゃ展は、今年は装いを新たに、日本の郷土玩具を中心としたものになります。会期は1月2日から2月11日まで、約200点のトラの郷土玩具を展示します。出品者は京都市在住の郷土玩具の収集家、平田嘉一氏です。

### \* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。3月までの休園日は下記のとおりです。  
1月20日(月)、2月17日(月)、3月17日(月)、  
開園時間は午前9時30分から午後5時まで、午後4時に切符売止めになります。

# ゆとり満喫、信頼のカード。



ショッピングから海外旅行まで  
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。  
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

## 近鉄グループカード (キップス) **KIPS**

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。  
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの  
ご利用にはいろいろな特典が。

**近鉄百貨店** 各店クレジットセンターへ  
アペノ店7階 ● 上本町店10階 ● 東大阪店本館 ● 奈良店4階 ● 西京都店1階  
(京都ファミリー)

ひかりのくに

監修・阪口浩平  
指導・宮武頼夫

●オールカラー

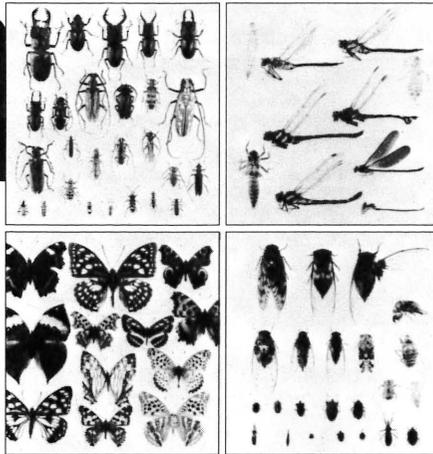
# むし

くらしとかいかた

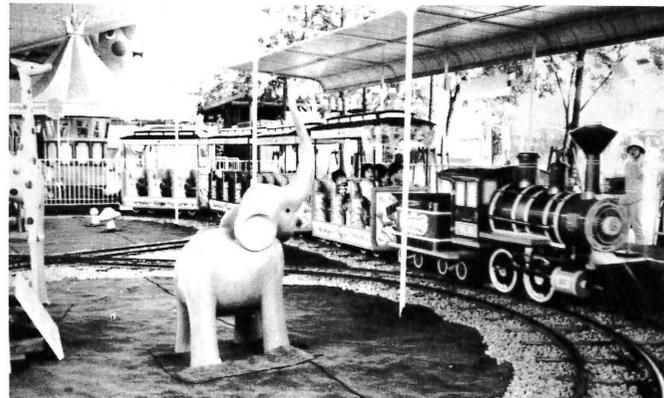
今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きつとすばらしいことに出会えるはずだ。



B5・実形 84ページ **580円**  
ひかりのくに株式会社  
〒543 大阪市天王寺区上本町3-2



# たのしいのりもの、が待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)  
団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

# 世界初の最高感度

(カラープリント用フィルム)

# 1600 新登場!

## かたらの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031



# フジカラー HR 1600

ISO1600/33° 135-24枚撮



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」  
①巻・20分(10本常備)
- 対 象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸 出 料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申 込 先/当協会まで、電話かハガキで  
お申し込み下さい。

## 動物観察の手引に 天王寺動物園 ガイドブック

のご購読をおすすめします。  
(1冊¥450)園内各売店にあります。

## 大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

動物文学会主宰 平岩米吉著

新刊

# 猫の歴史と奇話

(定価・2600円)  
A5判・260頁  
口絵挿画・113図

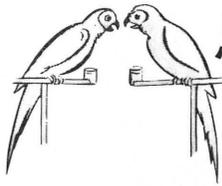
猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本  
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

## 主な目次

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 第一章 猫の歴史<br>欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで | 第二章 猫股伝説<br>老猫化けてさまざまな怪異をなす           |
| 第三章 猫の報恩談<br>蛇を咬んだり、金を運んだりする        | 第四章 野性猫の存在<br>裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など |
| 第五章 猫の奇話(上)<br>長命、多産、三毛猫などの形態の奇話    | 第六章 猫の奇話(中)<br>長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動 |
| 第七章 猫の奇話(下)<br>マタタビを媚薬とする奇妙な習性など    | 第八章 益獣としての猫<br>あらゆる角度から猫の生態と効用を探究     |

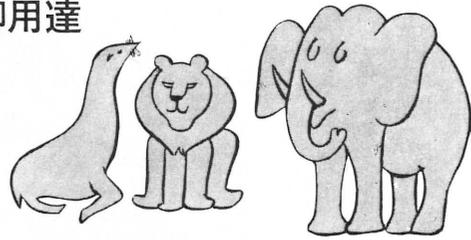
発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800  
発売 株池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

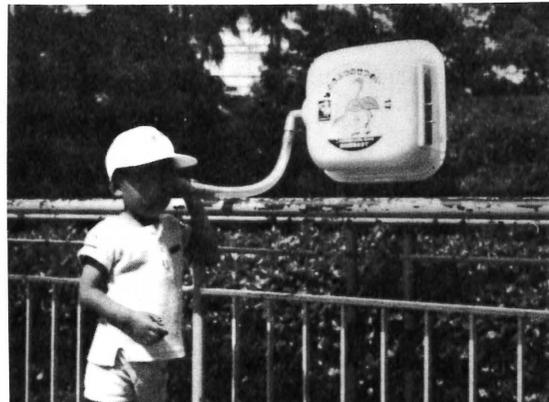
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での お食事、ご休憩は

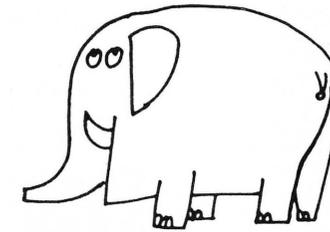
大阪市天王寺動物園内

## 中央売店

☎ (06) 771-0973



## 天王寺動物園内



## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

## 園内でのお写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して  
おりますので説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願い致し  
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ

自然の  
おいしさ



雪印ヨーグルト

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

ペットを飼っている人にも飼えない人にもこの1冊

# ペット大図鑑

あらゆるペットの飼い方、殖やし方、  
治療法がひと目でわかります。

1部/犬・猫など 2部/リス・アライグマなどの小動物  
3部/金魚・熱帯魚・海辺の生きもの 4部/洋鳥  
・和鳥・鳩など 5部/は虫類や昆虫など、めず  
らしい生きもの 巻末/ペットの便利情報ガイド

総監修 / 中川道朗 (大阪市天王寺動物園協会専務理事)  
監修 / 浦東信夫 / 榎原安昭 / 内田 至  
石原重厚 編修協力 / 宮武頼夫

特別  
価格 **2,950円**  
(定価3,300円) ※送料無料

同封の専用紙または郵便局の振替用紙にて  
お申込みください。振替口座 / 大阪5-98163  
(株)グリーンアド・コミュニティ  
〒550 大阪市西区西本町3-1-46 TEL. (06) 531-0415

好評発売中



サイズ **AB判** (25.7×21cm)  
カラー **160** ページ・全 **400** ページ

なきごえ 昭和61年1月10日発行 (毎月1回10日発行) 第22巻 第1号 (通巻245号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦 / 伊東重朗 / 小出雅三 / 榎本 勲 / 中川哲男 / 前田豊彦 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榎原安昭 / 森本委利)  
(大野尊信 / 山下春之 / 農本武志 / 野口秀高 / 早川 篤 / 薮野幸司 / 堀 弘 / 大川光雄)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823